

焼津市立焼津東小学校いじめ防止基本方針

【PTA・地域との連携】
 ・保護者との日常的なつながり
 アンケート・面談・学校だより
 ・学校評議員との連携
 ・校内見守り隊
 子供の様子を日常的に見てもらおう。
 ・交通安全の旗ふり
 挨拶、交通安全の声かけ

【校内研修等】
 ・児童理解研修をSCやSSW心の相談員と共に行い、全校で共通理解していく。
 ・いじめ防止研修会を行い、いじめの子兆を見逃さない意識を持つ。
 ・学びを実感できる授業を目指す。
 授業の中で自己肯定感、学び合いの力を育てる。

【目指す子ども像】
 やってみよう！～自分をのばす みんなで高め合う～
 ・失敗を恐れず自ら挑戦する主体性・積極性
 ・自分をさらに成長させようという貪欲さ
 ・集団の中で個の強さを生み出す切磋琢磨

【いじめ対策委員会】
 ・校長、教頭、教務主任、生徒指導主任、学年主任、養護教諭
 ・定期的に開催すると共に、必要に応じて緊急会議を開く。
 ・具体的事案の状況に応じて学級担任、心の相談員、支援員、SC、SSW等が参加しながら対応する。

【生徒指導体制】
 子供の心を受け止める体制作り
 全校職員の児童理解の上、学年主任会（生徒指導部会）・二部会（研修・特活）・いじめ対策委員会
 特別支援推進委員会・教育相談等 活用し取り組む。

【関係機関等】
 ・焼津市教育委員会
 ・焼津市子ども相談センター
 ・焼津市青少年教育相談センター
 ・焼津市警察署
 ・中央児童相談所
 ・焼津市立病院

【教育相談体制】
 「いつでも何でも誰とでも」相談できることを発信し意識付ける。
 ・黒潮っ子相談室
 ・「教育相談だより」発行
 ・心の相談員やSCと子供たちの顔合わせ

【未然防止の在り方】。
 ・「自分も相手も大切にする」人間関係力育成を教育活動全体で実施する。
 ・あたたかな言葉で育てる
 教師も子供も気持ちのよい挨拶に取り組むことで、自分の居場所があり、みんなでがんばれる学校、学級を目指す。
 ・交流や体験的な活動等を通して、協調や協力の大切さを実感できる場作りに努める。
 ・人間関係づくりプログラムを実施し、児童の心の交流を図り関係力を高める。
 ・学級会や道徳でいじめについて考える場を設けいじめのない温かな人間関係を築いていこうという気持ちを育てる。

【早期発見の在り方】
 ・児童が発する小さなサインを見逃すことのないよう日頃から丁寧に児童理解を進める。
 児童の活動や日記等から心の変化をつかむ。連絡帳等により、家庭からの情報を得る。
 ・「いつでも何でも誰とでも」相談できる体制を整える。
 心の相談室
 スクールカウンセラー
 ・週1回、特別支援コーディネーターを中心に支援員を含めて支援会議を開き、情報の把握や共有に努める。
 ・ステージの活動ふりかえりカード
 ・いじめを認知したら、「はじめの窓口」の生徒指導主任に連絡し、対応を進める。

【早期対応の在り方】
 ・迅速な組織対応
 いじめや問題行動を把握したら、いじめ対策委員会を招集しケース会議を行う。多方面から情報を収集し、いじめの全体像を把握し、具体的な対応方針や指導計画、役割分担を決定する。心の相談員やSC、SSWとも連携し、問題解決のための助言を得る。解決に向け、子供の支援、指導、保護者への対応を適切に行う。
 ・外部機関との連携
 いじめ認知後は教育委員会へ第1報を入れ、連携相談し事例に応じ、子ども相談センターなどと連携を図る。

【継続支援の在り方】
 ・いじめが解決するまで、いじめ対策委員会を中心に継続的にケース会議を行う。
 ・いじめを受けた児童、保護者に対する支援及びいじめを行った児童、保護者に対する支援、教育相談を継続的に行う。
 ・月例報告でその経過を焼津市教育委員会へ報告する。
 ・記録を残し、今後の継続支援に活かす。
 ・指導や対応の見取り
 「学校生活を明るくするアンケート」（いじめアンケート）
 年3回
 「保護者に向けた学校評価アンケート」年2回を行う。

【重大事態】 「焼津市いじめ防止等のための基本方針」に基づき、事実確認の結果を直ちに焼津市教育委員会に報告し、連携し対処する。

焼津市立焼津東小学校 いじめ防止対策年間計画

	①組織・連携・点検・評価等	②未然防止	③早期発見・対応 と継続的支援
4	【P】 いじめ対策委員会で学校基本方針を策定 【P】 生徒指導研修で基本方針を周知 【C】 こころのアンケートの実施	【D】 あたたかな言葉（第1ステージ）を各学級で意識する 【D】 人間関係づくりプログラム 効果測定で児童の実態把握① 【D】 レジリエンスプログラム実施① 【D】 ようこそ黒潮っ子集会 【D】 レジリエンスプログラム実施①	【D】 健康観察や連絡帳、日記等による観察 【D】 個別のケース会議の開催 【D】 日常的な先生方による情報共有 【D】 ネットパトロールとその対応
5	【D】 校内就学支援導委員会で実態把握① 【D】 SCと先生方で情報交換 【C】 こころのアンケートの実施	【D】 レジリエンスプログラム実施② 【D】 運動会に向けた学年・異学年の活動	【D】 自宅確認 【D】 支援会議
6	【D】 児童理解研修で実態把握 【D】 小中合同研修会 【C】 こころのアンケートの実施 【D】 学校評議員会で情報共有	【D】 第1ステージ振り返り 【D】 あたたかな言葉（第2ステージ）を各学級で意識する 【D】 レジリエンスプログラム実施③	【D】 アンケートの確認と対応 【D】 支援会議
7	【C】 学校教育活動アンケート 【A】 アンケートの点検、評価 【D】 校区の教育を語る会で情報共有 【D】 校内就学支援委員会で実態把握② 【C】 こころのアンケートの実施	【D】 レジリエンスプログラム実施④ 【D】 保護者面談 【D】 人間関係づくりプログラム 効果測定で児童の実態把握②	【D】 支援会議 【D】 商店訪問 【D】 アンケートを受け、面談等の指導
8	【D】 生徒指導研修（SCを講師に）		【D】 支援会議
9	【C】 こころのアンケートの実施		【D】 支援会議
10	【D】 校内就学支援委員会で実態把握③ 【C】 こころのアンケートの実施	【D】 フェスタ黒潮っ子 【D】 第2ステージ振り返り 【D】 あたたかな言葉（第3ステージ）を各学級で意識する 【D】 スマホタイ講座（保護者） 【D】 レジリエンスプログラム実施⑤	【D】 支援会議
11	【D】 生徒指導研修（いじめ事例検討） 【C】 こころのアンケートの実施 【D】 防災連絡会で情報共有	【D】 スマホタイ講座（児童） 【D】 道徳・学級会でいじめ教材の活用 【D】 人間関係づくりプログラム 効果測定で児童の実態把握③ 【D】 レジリエンスプログラム実施⑥	【D】 支援会議 【D】 アンケートの確認と対応
12	【C】 学校評価アンケート 【A】 アンケートの点検、評価 【D】 学校評議員会で情報共有 【D】 校内就学支援委員会で実態把握④ 【C】 こころのアンケートの実施	【D】 第3ステージ振り返り	【D】 支援会議 【D】 校外指導 【D】 アンケートを受け、面談等の指導
1	【C】 こころのアンケートの実施	【D】 あたたかな言葉（第3ステージ）を各学級で意識する 【D】 レジリエンスプログラム実施⑦	【D】 支援会議
2	【C】 こころのアンケートの実施	【D】 エコ・キャップ祭り 【D】 6年生ありがとう集会 【D】 レジリエンスプログラム実施⑧	【D】 支援会議 【D】 アンケートの確認と対応
3	【A】 アンケートの点検、評価	【D】 第4ステージ振り返り	【D】 支援会議 【D】 アンケートを受け、面談等の指導 【D】 校外指導
			【D】 SC・SSW 来年度の引継ぎ

ケース会議は随時行う

※「②未然防止」として、日常的に授業を通して生徒指導を機能させる。

また、「黒潮っ子はみな兄弟、東小はみな家族」を合い言葉に同学年・ペア・異学年の交流を進めていく。